

## 第5回 公立能登総合病院協議会 記録

【日 時】 平成21年11月17日（火） 午後3時より午後4時50分

【場 所】 公立能登総合病院 会議室（3階）

【出席者】 23名（委員10名、当院 9名、事務局 4名）

（委員） 松木会長、池島副会長、新屋委員、岡野委員、小林委員、佐原委員、清水委員、津田委員、平山委員、松本委員（欠席 蔵谷委員、高瀬委員）

（当院） 川口事業管理者、藤岡病院長、池野副院長、永島経営本部長、中村総務課長、出村管理課長、北川患者サービス課長、中江田医療情報課長、石垣地域医療連携室長

（事務局） 島本経営企画課長、高瀬主幹、羽石主任、森口主事

### 【内容】

#### 1 病院事業管理者あいさつ

##### <川口病院事業管理者>

本日は、お忙しいなか、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。

当院は、地域の皆様の病院でありますので、地域の皆様のご意見を取り入れながら病院を運営していきたいと考えております。そのためにこの協議会を開催させていただきましたので、本日はよろしく願いいたします。

#### 2 会長選任

病院協議会設置規程第4条の規定により、松木委員を会長に選任。

##### <松木会長>

公立病院である能登病院が「地域の皆様の病院である」ということで、この会議が開催されたものと感じております。委員の皆様におかれましては、能登病院が地域の医療機関として、より良くなるためのご意見やご要望などを、忌憚なく発言していただきたいと考えております。

#### 3 副会長選任

病院協議会設置規程第4条の規定により、池島委員を副会長に選任。

##### <池島副会長>

公立能登総合病院がその名の示すとおり、「能登一の病院」としての使命を果たすべく、我々協議会委員一同、微力ながらその目的達成に少しでも邁進していきたいと念願いたしております。

これからは、病院長を中心として、益々「和を持って尊しとなす」の格言を真摯に受け止め、みんなで協力しあい、笑顔で人や物に接し、「和・顔・施（わがんせ）」の施しを忘れることなく、前進していきたいと念じております。

#### 4 議件

##### （1）病院の現況報告

地域の皆様の病院としての取り組みについて、担当者より報告。

- ・プチナース（幼稚園児）の訪問
- ・出前講座の開催
- ・わく・ワーク体験の受け入れ
- ・病院フェスタの開催
- ・救命救急センターの役割及び現在の状況
- ・感染症病棟の設置と新型インフルエンザへの対応
- ・災害拠点病院としての取り組み
- ・経営改革の取り組み
- ・当院の今後の方向性

<佐原委員>

現在、医師の在籍が54名とのことですが、これは増えてきてのものですか。

→ 増えてきてのものです。

<佐原委員>

救急外来について、コンビニ受診の状況はどうですか。

→ 救急車で来院された患者さんが、入院する割合は50%前後でありますので、重症患者の割合をもう少し増やせていけたらと考えております。

また、救急外来には救急車以外にも、1日に30～50名の患者さんが来院されておりますので、スタッフ等を含めて診察に係る負担は大きいのが現状です。

<佐原委員>

日中に診察をしてもらうべき薬を、仕事が忙しいなどの理由で、夜に救急外来を受診し、もらえる方はいますか。

→ 救急外来では、4～5日分しか処方していないため、そのような方はほとんどいません。

<佐原委員>

先日、医師会で、新型インフルエンザ等で対応できない状況になった場合、地域の開業医との連携が必要ではないかという話がありました。先程、スタッフ等の負担が大きいとお話がありましたが、現在はどのような状況ですか。

→ 大人はそれほど受診されておられません。子どもの発熱による受診が多く、小児科の先生は大変な状況です。

<佐原委員>

先々週の日曜日、私のファミリークリニックが小児休日当番医だったのですが、午前中だけで120名の方が診察に来られました。毎日、これだけの数の患者さんが能登病院や恵寿病院を受診したら、大変なことになると考えております。医師会を代表としてここに来ておりますので、本当に大変な状況になった場合は、連携していきたいと考えております。

<佐原委員>

新型インフルエンザで開設した発熱外来について、実際にやってみて効果的でしたか。また、鳥インフルエンザ（強毒性）が流行した時、実際に役立つかどうか検証はされましたか。

→ 県からの指導に従いながら開設したものであり、実際に役立つかどうかまでの検証はしていません。

ただし、実際に発熱外来で診察をしたことにより、職員が問題を共有し、手順を確認できたことはとても有意義なことでした。実際に鳥インフルエンザ（強毒性）が流行した時は、この経験を活かしながらがんばっていききたいと考えております。

<佐原委員>

リハビリスタッフが増えたとのことですが、今後の計画として、回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟や認知症に対応する病棟などを設置する予定はありますか。

→ 現在のところ、回復期リハビリ病棟を作るという予定はありません。ただし、入院されている患者さんにニーズがあり、在院日数の短縮で病床が空いてきた場合には、作るということも考えられます。

緩和ケア病棟については、必要があれば、病床単位で作っていただければと考えております。

<佐原委員>

現在、緩和ケアチームは能登病院にありますか。

→ 1年位前に結成され、精神科の先生、看護師や薬剤師などで構成され、活躍してもらっております。

<佐原委員>

能登北部の病院との連携について、何か具体的な方策はありますか。

→ 脳梗塞などの患者さんのCT画像を、当院の脳外科医師の携帯電話に転送し、搬送の時期などを判断するシステムを、恵寿病院も含めて、能登全域で持てればと考えております。当院が整備するというよりは、むしろ県の地域医療再生基金を活用するなど、県の事業としてできないかとお願いしているところであります。

また、医師の増員が前提ですが、週1回の割合で能登北部の病院に当院の医師を派遣し、「顔の見える連携」ができるようにしていきたいと考えております。

<平山委員>

救急外来のコンビニ受診に関連して、「重篤な患者さんを診察する病院」であるということ、出前講座や広報を通して、地域の皆さんにもっとアピールしていけば良いのではと考えております。外来患者数は年々少なくなってきておりますが、そういったアピールをすることによって、もう少し外来患者数を減らすことができ、医師の負担を軽くすることができるのではないかと思います。

<松本委員>

新型インフルエンザに関する情報については、メディアから受けることが多く、ぜんそくなどの基礎疾患がある子どもの親などからは、予防方法や実際になった場合の対処方法などがわからないという意見があります。

子どもを持つ親の立場として、お願いしたいのですが、新型インフルエンザに関する情報（知識のない私達でもわかるようなアドバイス）をもう少し地域に発信することはできないでしょうか。

また、新型インフルエンザワクチンの接種に関する情報（子どもの接種時期の前倒しなど）についても、もう少し地域に発信していただけたらと思います。

→ 新型インフルエンザワクチン入荷量や入荷時期は県が把握しております。当院への入荷量や入荷時期は、県からの連絡によって初めて知ることができます。その連絡をもとに当院では、事前に予約された方の中から接種対象者を決定し、ワクチンを接種することになるのですが、県からの連絡が、当院への入荷日の数日前になることが多く、対応が後手後手になっているのが現状です。

<松本委員>

わく・ワーク体験で中学生が18名、高校生が16名来られたとのことですが、中学生、高校生の中で、医療の世界を目指す人の数は把握されていますか。

→ 来られた方は、医師、薬剤師や看護師を目指す方がほとんどですが、中学生、高校生の中で、医療の世界を目指す人の数は把握しておりません。

学校での枠取りや声かけの中で、今年度はこれだけの方が来られたということしか、今の段階ではわかりません。

<松本委員>

中学生・高校生全体の中で30名程度となると、人数が少ないような気がします。

<松木会長>

私は、七尾高校の委員をしているのですが、最近は医学部に進学して医師になる方が少ないと聞いています。

<佐原会長>

七尾高校では、医師になるために医学部に進学した方は、去年は2名でしたが、一昨年とその前はいませんでした。医学部よりも、東大や京大への進学を勧める傾向が強かったと聞いています。

<松木会長>

昨年、石川県の修学資金を利用して、医師になるために医学部へ進学された方は、七尾高校からが1名で、金沢大学附属高校からが4名と聞いております。

## (2) 平成20年度決算の状況について

次の事項について、担当者より報告。

- ・決算の概要
- ・患者数の状況
- ・損益計算書
- ・経営目標の達成に向けた取り組み

<佐原委員>

赤字を減らした大きな要因は、入院患者数が増えたことによるものですか。

→ 1日当たりの入院患者数は増えてはおりますが、在院日数が短縮されているため、延入院患者数はそれほど変わっておりません。在院日数が短くなることによって、病棟の回転が良くなり、1人1日あたりの入院診療単価が上がりました。

外来についても、外来患者数を減らすことによって、見落としのない丁寧な診察ができるようになり、1人1日あたりの外来診療単価が上がりました。

このようなことから考えますと、1人1日あたりの診療単価が上がったことが、赤字を減らした大きな要因と言えると思います。

また、「7対1看護」などの診療報酬に関する施設基準を取得したことも大きな要因ではないかと考えております。

<佐原委員>

企業債の残高について、返済は予定どおり行われておりますか。

→ 償還表に基づいて予定どおり返済しております。

<佐原委員>

病院機能評価の更新に際し、敷地内禁煙が条件になっていますが、精神科での対応はどうされましたか。

→ 精神科の病棟には排煙装置付きの喫煙ルームがあり、その場所で喫煙してもらっております。病院機能評価の検査員に、その場所を見てもらい、そのうえで認定していただきました。

<佐原委員>

職員給与費対医業収益比率が下がったのは、給与費が圧縮されたからですか。

→ 給与費が下がったというよりは、医業収益が上がったことによるものと思われます。

<佐原委員>

医学生を対象とした修学資金制度を具体的に説明していただけますか。

→ 大学の診療科に在籍する大学院生に修学資金を貸与し、貸与した期間に相当する期間を当院で医師として勤務してもらい、修学資金の返還を免除する制度です。

ある大学の診療科の教授から提案があり、制度化したのですが、その教授の教室に対象者がいなくなってしまうため、まだ誰もこの制度を利用していないのが現状であります。来年度以降についても、希望者がいれば、この制度を利用して医師確保に努めたいと考えております。

<佐原委員>

高校生を対象としたものではないということですね。

→ そういうことになります。

<平山委員>

決算状況の説明はとてもわかりやすかったのですが、資料が損益計算書のみでありましたので、できれば貸借対照表も見せていただければと思います。

→ わかりました。

(3) 今年度の取り組みについて

① 6つのプロジェクトの推進について、担当者より報告。

・救急1日入院推進プロジェクト

《目的》患者さんの不安を取り除くために、救急搬送患者の80%の入院を確保すること

《現状》救急搬送患者の50%が入院

・看護師臨床研修制度プロジェクト

《目的》来年度から新卒看護師の卒後臨床研修制度を導入すること

《現状》導入準備を着実に進めている

・地域医療支援病院承認プロジェクト

《目的》かかりつけ医を支援する地域医療支援病院の承認を受けるために、承認要件である紹介率40%、逆紹介率60%の前段階として、紹介率20%、逆紹介率30%を確保すること

《現状》職員一丸となって目標達成に向けて取り組んでいる

・電子カルテ構築プロジェクト

《目的》今年度中に電子カルテを稼動すること

《現状》平成21年11月1日から導入し、現在運用している

・院内保育支援施設検討プロジェクト

《目的》職員の子どもの対象とした院内保育施設を開設するにあたり、当院の方向性を決定すること

《現状》病児保育室の開設を決定し、平成22年1月から開所予定

・診療材料費適正化プロジェクト

《目的》診療材料費の適正化に取り組み、予算額の10%に当たるコストを削減すること

《現状》職員一丸となって目標達成に向けて取り組んでいる

②医師・看護師確保の今後の取り組みについて、担当者より報告。

《医師確保について》

- ・大学等の学校廻り
- ・医師確保相談役の設置
- ・医療作業事務補助者の設置
- ・研修医の確保
- ・医師修学資金貸与制度の創設

《看護師確保について》

- ・選ばれる職場作り
- ・新たな看護師確保に向けて

<佐原委員>

救急1日入院推進プロジェクトについて、特別養護老人ホームや老人保健施設で夜間熱発した方を1日だけ様子を見て欲しいという場合にも適用されますか。

→ はい。適用されます。

<佐原委員>

電子カルテを導入したことによって、開業医がインターネットを通して、紹介した患者さんのカルテの様子を閲覧することが可能になりますが、将来的に、そのようなシステムを構築する予定はありますか。

→ 今のところはまだ考えておりません。

<平山委員>

院内保育について、病児保育をされるとのことですが、将来的には普通の保育もしていただければと考えております。そうすることで、女性の医師や、育児のために辞めていった看護師が勤務しやすくなると思います。

5 その他

担当者より、次回開催予定及び会議録の校正について案内。

6 病院長閉会あいさつ

<藤岡病院長>

当院は、病院フェスタを開催するなど、地域に開かれ、地域の皆様に愛される病院を目指した活動を開始しているところでございます。また、能登北部の4病院との連携を強めるために、この4病院の方々を当院にお招きして、懇談会を開催したりしております。

今後は、本日の協議会での貴重なご意見を参考にさせていただきながら、この目標が達成できるよう努力していきたいと考えております。

協議会委員の皆様におかれましては、当院に対するご理解とご指導を引き続き賜りますようよろしくお願いいたします。

(午後4時50分閉会)